

灯

玉之浦小中学校だより

(あかり)

第 10 号
令和4年8月9日

1945年8月9日11時2分、長崎市に原爆が投下されてから77年の長い月日が流れました。改めて、長崎県に住む私たちが「自分事」として受け止めることの大切さを感じます。子どもたちは、戦争や原爆について学び考えたことを、本日の平和集会を通して共有しました。

県中学校総合体育大会

ソフトテニス(川脇・中村組)・陸上(綾音さん)

【ソフトテニス】



7月24日(日)佐世保市総合グラウンド庭球場で、ソフトテニス競技の個人戦が行われ、本校からは川脇颯太・中村和志組が出場しました。小雨が降ったり止んだりする難しいコンディションの中で大会が始まりました。

第5コート2試合目が川脇・中村組の1回戦。対戦相手は南島原市立加津佐中学校でした。前半は、サーブとストロークの安定性、チャンスを活かしたポーチボレーなど、川脇・中村組の持ち味が随所に出て、ゲームカウントも先行した展開になりました。途中で強い雨が降り始め、10分程度の中断の後、コートが滑りやすい状態で再開されました。再開後はストロークやボレーの踏ん張りがきかなくなり、ボールがネットに掛かったり、浮いてしまったりするプレーが増え、ゲームカウント3対3でファイナルゲームへ。ファイナルゲームも一進一退の展開になり、互いによりプレーをたくさん見せてくれました。最終的には、一歩及ばず破れはしましたが、見応えのある試合でした。

県大会の場で戦う2人の姿に、たくましくさを感じました。学校教育目標「汗を流して…」を体現してくれていました。また、3月まで玉小に勤務していた寺井秀行先生が応援に駆け付けてくれました。「小6から2人の成長を見てきたが、本



(後衛) 颯太さん



(前衛) 和志さん

当にたくましくなった」と言われていました。それから日々の練習では、ソフトテニス経験者の保護者の皆様にもご協力をお願いしました。ありがとうございました。

【陸上】

100mの花谷綾音さんは、五島市チームとして前日の練習に参加しました。補欠出場のため、当日は本番のトラックを走ることはありませんでしたが、大きな大会の雰囲気味わえたことは、次に繋がる糧になったはず



綾音さん



綾音さん

終業式 1学期の反省

代表2名の発表内容を要約して紹介します。

■小学校代表

2年 田端 渚さん



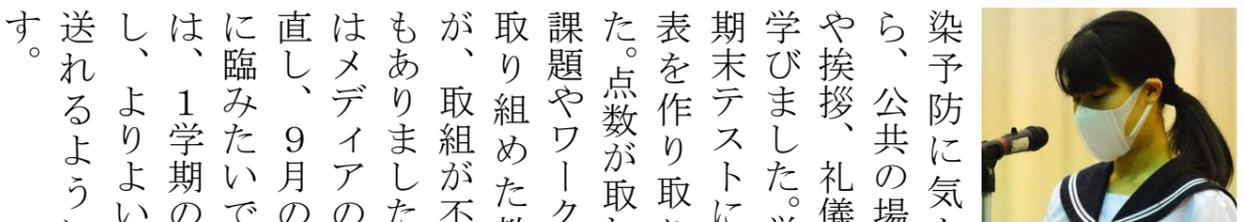
渚さん

1学期に頑張ったことは宿題で、特に漢字ドリルです。係の仕事も頑張りました。毎日、係の友だちと健康観察を持って行きました。夏休み

に頑張りたいことは早起きです。2学期は運動会があるので、ソーラ節やかっこを頑張ります。そして九九、特に九の段を頑張ります。

■中学校代表

2年 林 真心さん



真心さん

1学期の課題を解決し、よりよい学校生活を送れるようにしたいと思います。

ジュニア俳壇

八月七日(日)長崎新聞に、生徒の作品4句が掲載されました。

- 準備よし部屋干しタオルとラムネビン 中3 金丸未来さん
- ラムネ飲み反転する空ビー玉に 中2 林 真心さん
- したたる汗大空に舞う朱夏 中2 中山穂乃香さん
- 夏至の日にかけて休む黒い僕 中1 出口清悟さん

社会を明るくする運動

長崎県中学・高校生弁論大会

NHK長崎放送局賞 金丸未来さん



カメラに向かって…未来さん

して出場しました。当日は、台風のため長崎市



を重ね、表現力に磨きをかけたいました。

8月1日(月)標記の大会が長崎市で開催され、7月16日(土)の地区大会で最優秀賞に輝いた金丸未来さんが、下五島地区(五島市)代表と

翌日、NHK長崎放送局賞(優秀賞)を受賞したとの嬉しい連絡がありました。構想・作文・発表練習と真剣に向き合ってきた成果です。おめでとうございます！

に移動することができませんでした。そこで県大会事務局と交渉して、急遽ビデオでの出場を認めていただきました。急いで撮影を行い、YouTube上に限定公開し、会場で映写する形で出場を果たしました。撮影はパソコンで行い、ロボコンの準備で来校していた中学3年生と職員が聞き手になり、応援の拍手を送りました。地区大会後も練習

左のQRコードから、未来さんの発表動画を見ることができます。9月10日(金)頃に削除する予定です。



ソフトテニス夏季大会

7月30日(日)に予定されていた標記の大会が、台風のために8月2日(火)に延期されて開催されました。県中総体を機に3年生が引退し、

1・2年生だけで臨む初めての公式大会でした。2年生2名、1年生3名の奇数人数での出場になったため、出口・緒方組をオープン出場とし、野崎・埜組、出口・川脇組で挑みました。初戦、3組とも勝利を収

めることができました。2回戦(準決勝)に挑んだ2組は、ここで惜敗し3位になりました。9月3日(土)は市中総体新人大会です。対戦相手の特徴や、自分たちの課題が確認できたと思います。このあとの1か



匠也さん

優斗さん

和輝さん

清悟さん

伊織さん

月間の練習が充実したものにすることを期待します。

よしなごと

吉田拓郎が、年末で活動を終了するという：私の青春をワクワクさせてくれた「たくろう」も76歳。

生身の人である以上、老いは避けられません。しかし願わくば、ヒーローには不滅であってほしいという自分勝手な思いがあります。(玉之浦港祭り、70年代フォークを歌おうと時間をいただいていたが、中止になりました。残念！)

私の母は89歳。昨年6月に股関節を骨折し手術を受けました。その後、一人暮らしで頑張っていました。が、今年5月、複数の病が併発し入院。7月末には年齢相応の回復を遂げたとして退院することになりました。どんなときも気丈だった母が「一人では生活できない」と言ったため、偶然、空気ができたりハビリ施設に入所しました。ある日、実家を片付

けている時に、押し入れの中に竹製の和裁用物差しを見つけました。50年ほど昔、悪さをした私の尻や手を、バシバシ叩いていたものです。私にとっては絶対服従の最強アイテムでした。私が物心がついた頃には、寿司屋や旅館のパート、三味線教室、子守など、家事をこなしながら働く母の姿がありました。裕福ではなかった我が家で、私を大学にやるのは、世間に笑われたくないという母の意地だったと、本人から聞いたことがあります。どんなときも最強だった母が次第に老いていきます。ヒーローも老いていく：感覚として、目の前の現実を見ることができようになるようになってきた私。いつかやってくる「落陽」の日まで、母と子として過ごす時間を大切にしながら、平らかな日々が少しでも長く続くことを願うばかりです。

あとがき

●県中総体：皆様からたくさんの激励の言葉や、お志をいただきました。誠にありがとうございます。

●グラウンドの桜は、すでに一部の葉が黄色くなり、落葉し始めています。

この時期の桜を見て浮かぶのは「必要なことを必要な時期に」という言葉です。桜は酷暑の中で、すでに冬支度を始めています。夏休み半ばの子どもたちにも、この言葉に向き合わせたい。特に学習については！

●次の登校日は8月19日(金)です。